

骨髓バンク20年目の同窓会・患者とドナー1000人の集い

めぐりあえたことに ありがとう

骨髓バンク(東海骨髓バンクなどかつての民間バンクも含む)を通じて
骨髓移植を受けた患者さんと、骨髓液を提供したドナーさんが語らいながら交流することで、
今も病と闘う患者さんの希望となればと願うものです。

日程 平成22年 **9月11日(土) ▶ 12日(日)**

会費 **10,000円** (一泊二食付き宿泊代として)

場所 **裏磐梯猫魔ホテル**
〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村松原湖畔
<http://www.nekoma.jp/index.html>

参加対象

- 1) 骨髓バンクを通じて骨髓移植を受けた経験のある患者さん
- 2) 骨髓バンクを通じて骨髓を提供した経験のあるドナーさん
- 3) 骨髓バンク支援団体でボランティア活動をしている方

※定員となり次第、締め切りとさせていただきますので、お早めにお申し込み下さい。

内容

11日

- 14:00~15:20
「大切なあなたへ 長谷川ファミリーほのぼのコンサート」(演奏:長谷川ファミリー)
- 15:30~16:45
いのちの講演会「車を止めて」(講師:大石邦子さん)
- 17:30~20:30
めぐりあえたことにありがとうの集い
集いの内容は当日のお楽しみです。サプライズがあるかも知れません。

※時間は変更となる場合があります



長谷川 朝子

Hasegawa Tomoko

長谷川ファミリーは、長谷川朝子(声楽、ハーブ)、長谷川千鶴(バイオリン)、長谷川弘樹(チェロ)の親子3人で結成する福島県を代表する演奏家です。童謡、クラシック、ポピュラー、演歌、あらゆるジャンルの音楽を独自のスタイルで表現

します。
その活動は平成5年にスタートし、演奏会は500回を越えています。



大石 邦子

Oishi Kuniko

会津本郷町生れ。エッセイスト。
'61年、会津女子高(現榮高)卒業。22歳のとき、交通事故に遭い半身麻痺となる。車椅子生活を続けながらエッセイを書き講演活動を行っている。主な著書に「この生命ある限り」「この生命

を凍と生きる」「人は生きるために生まれてきたのだから」(講談社刊)他。これまで福島県文学賞、福島県出版文化賞、NHK東北ふるさと賞、文化庁芸術祭大賞テレビドラマ原作賞などを受賞。



菊池 章夫

Kikuchi Akio

高校時代の音楽仲間と「阿呆鳥」を結成。1981年、シングルレコード「物語」を発表し約15万枚の売上げを記録。全国的に注目を浴びる。1986年に解散するが、1996年6月にソロとして再デビュー。

最新アルバム、「Get Over」に収められている「見えないあなたへありがとう」は、骨髓バンクを介して移植を受け元気になった患者さんの詩に曲を付けたもので、静かに骨髓バンクの応援団でもある。

●会場周辺地図



福島県裏磐梯地方の美しく雄大な自然と
素敵な温泉が皆さんのお越しをお待ち致
しております。

※遠距離の方には、交通費の補助があります。
※東京からは、格安のバスの送迎があります。

詳しくは資料をご請求下さい。

お申し込み・お問い合わせ

特定非営利活動法人

全国骨髓バンク推進連絡協議会

〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1 Woody21 9階

TEL:03-3356-8217

FAX:03-3356-8637

URL:<http://www.marow.or.jp/>

福島県骨髓バンク推進連絡協議会

〒970-1146 いわき市好間町神小屋字小畑133-3

TEL:0246-36-8343 FAX:0246-36-3538

URL:<http://fukushima.marowjp.net/>

主 催：特定非営利活動法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会

主 管：福島県骨髓バンク推進連絡協議会

副 主 管：青森県骨髓バンク推進協議会・岩手県骨髓バンク推進協議会・宮城県骨髓バンク登録推進協議会・秋田県骨髓提供者を募る会・骨髓バンクを支援するやまがたの会

後 援：財団法人骨髓移植推進財団・日本赤十字社・日本さい帯血バンクネットワーク